ご主人様とゆく異世界サバイバル生活

THE COMIC

SASAYUKi
[原作]リュート
[キャラクター原案]
ヤッペン

RideComics

cover design : AFTERGLOW

ご主人様とゆく異世界ビバナガ生活

THE COMIC 8

SASAYUKi
[原作]リュート
[キャラクター原案]
ヤッペン

RideComics

MENU

Different world
survival to
go with the master

DATE

- #42 025
- #43 047
- #44 057
- #45 093
- #46 119
- #47 151

NOVEL

- 色々なすらいむ 155

MATERIAL

- 設定資料 .....

RideComics

まずは街からの出立確認するんだ

はっ！

メルティ
ここにある物資を
保管する建物を手配して
全て移動させろ

全てですか？

そうだ

#42

……

それと資材以外の
物品は機密扱いだ
選別は
アイラに任せる

御意

ん

まずは倉庫を
手配します

ん私は
問題ない資材に
魔法で印をつけて
いく

ダナン――

キュービは3年前の反乱を起こした時から行動を共にしているのだったな？

はい

正確には反乱を起こす前準備段階の時からです

それから反乱を経てほぼ準備なしでのオミット大荒野の強行軍を乗り越え

黒き森で雌伏（しふく）の時を過ごした

今になって私達を裏切る……
そんなことがあり得るのか？

……

奴は
掴みどころがなかったが
誰とでも気さくに話せた
何より子供によく好かれる男だった

確かに出自については
わからないことが
多かったが
それはオミット大荒野の
強行軍を生き延びてきた
他の者達も同じことだった
だから――

姫殿下！

どうした

キュービが
西門から馬車で
出発しているのが
確認できました

ガッ

ガッ

西門の入出管理兵が夕刻に
キュービが乗る馬車を
チェックしたそうです

南西方向に進撃している
レオナール部隊への
行軍用物資の
搬送任務とのことで

物資箱を積んで
いたそうです

命令書も
提示されたので
信用したそうです

命令書？

はい 書面は
正式なもので印も
押されていたようです

心当たりは？

いえ
そのような命令書
作成した覚えは
ありません

私もだ――

偽造された命令書を使って
馬車でココ(アーリヒブルク)から脱出か――

3年……
苦難に満ちた3年を共に
力を合わせて乗り越えてきた

だから
私は彼を警戒などしていなかったのだがな――

……

姫殿下――

今回起きた事件を考えると
今後は防諜(ぼうちょう)にも
しっかりと気をつけなければならないな

完全にキュービが裏切ったものとして行動する！

レオナールとザミルそれに砦に通達

キュービを見つけたら全力で確保しろ

はっ

それと早急に夜目が利く足の速い者でハーピィを軸に馬車を追跡させろ！

ジャギラ行ってくれるな

御意っ！

時間との勝負だ！キュービを決して逃がすなそしてコースケを取り戻すんだ

遅かったな

これでも
全速力で来たんだぜ

ハァ

そいつが例の
人間なのか？

信じられんな

!!

でもあんたらも
アーリヒブルグでの
戦闘を見ただろ

眠らせろ

ボワッ
悪いな……

殺したりは
しないんだよな？

情が湧いたか？

それはコイツの
対応次第だ

心配ならついて
きても構わないぞ

いや
契約どおり
ここまでだ

貴様はこれから
どうするんだ？

解放軍（あそこ）には戻れないからな
本当の雇い主の所に戻るさ

では契約通り
後始末を任せたぞ

報告です！
馬車を発見しました！
北西の森の中です！

ですがキュービおよび
コースケの姿は
見当たりません

どういうことだ！
もっと詳しく
状況を報告するんだ

キュービの使用した
馬車以外にもう一台の
馬車が燃やされています
馬はいません

キュービ以外に人間が
数人いた痕跡があります

それと——

魔法陣が描かれた
痕跡があります

——多分 転移魔法の陣

転移魔法だと？

複数の人間を
長距離転移させるのは
不可能ではない

魔晶石などで補助――
もしかしたら
アーティファクトを
使った可能性もある

そんなものが
使われたと？

コースケの重要性を
知っていればそれくらいの
ことはしてもおかしくはない

コースケの
力があれば３００人の
亜人がここまで戦えることを
私達が証明している

帝国との戦が長引いている
聖王国は力を欲して
いるはず

どうしますか？
キュービは単独で
移動したようです
追跡しますか？

本気を出したヤツを
追跡するのは無理でしょう

馬車を捨てたのも
隠れやすくするためと
思われます

それと北西地方はまだ
聖王国軍の勢力圏内です

いや 追跡は終了
一度帰還してくれ
夜通しご苦労だった

……了解
帰還します

……

コースケ……

大丈夫
すぐには殺され
たりはしない

そのつもりなら
連れ去りなんてしな
その場で殺してる

何を悠長(ゆうちょう)なことを――

大丈夫

絶対に私が居場所を突き止める

そして報いを受けさせる

ゴゴゴ

えっ……え？

うん？

軽率なことを言ったか？

一体何をさせられるのだろうか？

ボ

ボ

ボ

ここは――

何処(どこ)だ？

ピョーン

へーい
誰か他に居るかい？

新入りの
コースケでーす

#43

へんじがない

ここにはおれしか
いないヨウダ――

ふむ――

他にも囚(とら)われ仲間がいるなら情報交換ができると思ったんだけどな

さてどうするか――

キュービの野郎 覚えておけよ

どんな手を使ってでもてめーは絶対にぶっ殺す

絶対にだ

アーリエフルクを陥とした
状況でキュービが造反する
理由はわからないが

俺を売る先なんてのは
容易に想像がつく

聖王国だな

となるとこの地下牢は
聖王国支配下の
メリナード王国内か
聖王国国内ってところか

昔の地下で似たような
造りの地下牢を見たな

でもこのお尻はなんだ？

おそらくキュービは
俺の能力を警戒して
物資を吐き出させた

おかげでインベントリの中身は
食料素材以外空っぽだぜ

なのに今は普通の
囚人と同じ拘束状況だ

コロ

コロ

手枷

収納

ポイ収納

俺に対してこの程度の拘束は
何の意味も為さないというのは
キュービもわかっているはずだ

ガシャ

ガシャ

俺を殺すのが
目的だったなら
キュービはとっくに
仕事を終えていたはず

生かされてるのは
何か目的があったからだ

そういやキュービは狐
名前も『九尾』だしな
妖狐九尾か――

これがキュービの
意図した通りだとすれば
俺だけでなく
聖王国までもが

奴の手のひらの上で
いいように転がされて
いると思えてくるな

うーん……

わからん！
考えても推測の
域を出ないしな！

聖王国の奴らが
キュービの忠告を無視して
いる可能性もあるしな！

よし

このまま様子を見るか
早速脱獄するか
悩みどころではあるが――

まずは何か用意しておかないとな

木の板と小石をインベントリに ぶち込んで

クラフトすれば――

パッ

パッ

基本クラフト

石のナイフ

石斧

石斧

クラフティング

小石

木材

石斧の完成

ついでだ 完全に
ベッドを破壊して
素材入手だ

これで他にも
色々クラフト
できそうだ

そーいや

これって
トイレだよな？

一応水洗式？
か

水洗式ってことは管に沿って
下に掘り進めば大きな下水道に
たどり着く可能性があるな

よし
ならさっそく

よしこのまま
掘り下げていくぞ

ガッ

ガッ

一応入口は
蓋しておいてな

コソ

コソ

ガッ

ガッ

ガッ

目的の下水道に
ついたみたいだな

お！

ガッ

ガッ

って

下水道——
って感じじゃないよな

なんだここは？

下水管は更に下に
伸びている

ここより下に
下水道があるのか

もしかして
秘密の地下道って
やつか？

外に繋がっている
可能性もあるよな

探索してみるか

ペタ

ペタ

?!

さっきから
後ろから何かの気配が
する気が――

ゾゾゾゾ

何かが這(は)いずって
いるような…

これって――

THE WOLF

THE WOLF

まさか
ジュルジュルとした
不定形の名状し難い
何かじゃないよな！

警戒はしていたが
この展開は想定してなかったぞ

ズリュ

近づいてきてる！

考えろ
考えるんだ！

正体不明で謎の
生物相手に手持ちで
何ができる——

インベントリ 1.

閃いた！

ギズマ肉

この行為が正しかったのかはわからないが

とにかく正体を見極めないといけないからな

ズリュ

触手で肉を観察しているのか？

来た！

ズリュ

本体が近づてこないのは警戒しているからか？

動いた！

ズリュリュ

ということは知能があるのか

おーいしー♪

もぐ

もぐ

ハフ

キエエアアアア!?

シャベッタアアアア!?

ぴぃっ!?

おおお お前
喋れるんか!?

ひえぇっ!

にんげんさんに
みつかったぁ!
ふかく!

いや
不覚ってお前……

いぢめる?

コイツ

いや
いじめないけど

お前――
いや君も亜人
なのか……?

あじん
いじめないの?

いじめない
俺はオミット大荒野の向こう
黒き森で亜人と仲良くなって
一緒に生活してたんだ

バッ

色々あって
聖王国に捕まって
今は脱出中だ

さわってもいーい？

ニヨウウ

触るだけならいいぞ
痛いのとか
食べるのはやめろよ

いたいのしないよー

ニヨウウ

えるふと
たんがんぞくと
はーぴぃのあじと
においがする！

味!?

匂い!?

ほかにも
いろいろ！

わるいにんげんじゃ
なさそうだから
らいむたちのおうちに
つれてってあげる！

おうち？

そこにはお前よりも
物知りなやつはいるか？

いるよー

ほう！

よし
そこに
連れてってくれ

わかった！
こっち！

俺はコースケだ
よろしくな

こーすけ！
らいむはらいむだよ！

ぷよん

ぷよん

ぷよん

ライム「達」のおうち
って言ってたけど
他にも誰かいるのか？

おっきいらいむと
おっきいべすと
おっきいぽいぞがいるよ！

おっきい……？

そういえば
ここは何処なんだ？

おしろのちかー

ぷよん

ぷよん

お城って

今歩いているのは
王都の地下なのか

そうだよー

今ココ

アーリヒブルグ

メリネスブルグ

ライムの話が本当なら
俺はメリネスブルグに
連れてこられたって
ことか

メリネスブルグってことならシルフィの家族――

メリナード王国の王族の行方(ゆくえ)を知る手がかりがある可能性も…

おうさまたちは
おしろにいるよー

マジか！

らいむたちは
おおさまをまもるのが
おしごとなんだよ

だかららいむたちも
ここにいるのー

これは新情報だ
色々確認する必要があるな

おうちってのは
まだ遠いのか？

すぐそこー

地下水なのか？
全然臭くね

ピョーン
ピョーン

眩しい

ただいまー
こーすけつれてきたよー

ポヨーン

魔法の照明か

はーい
おかえりなさーい

ふーん
確かに人間ね

驚いている
ようなのです

まさかとは
思ったが――

本当にスライム娘が
存在するとは……

閃いた！
ひらめ

えーっと

#44

このくらいの大きさの
スライムなんだけど

ライムはどこへ？

わたしが
ライムですよー？

え？

おっと

ポヨーン

コースケ！

あんたと一緒に行動してた
ライムもそのライムも
同じ存在ってこと

ちなみに私はベスよ

私達は身体を分裂させて複体というものを作ることができるのですよ

私はホイソなのです

ベスにホイソか

それに複体かー

ニャー

俺はコースケ解放軍でシルフィ

シルフィエル姫殿下と言ったほうがわかりやすいか？

ニャー

ペロ

近い近いっ

シルフィと一緒に行動していたんだけど

ペロ

色々あって聖王国軍に捕まって独房から脱出してきたところでライムに会って――

ペロ

え～っとぺたぺた触ってるのなんなのそれ？

ついついつものくせでー

私達は触れ合うことによって情報を共有できるのよ

私達の間だけなのです

コースケ
ちょっと汚れてるー？

囚われてから
ずっと風呂に入って
ないからな

そもそも囚われてから
何日経っているのか
わからないし

もののついでね
綺麗にしてあげるわ

え？

全身の力を抜いて
身を任せるのです

そうですよ
私達に任せて下さい

ちゃんと綺麗にしないと病気になっちゃうのですよ？

身動きがとれないんですが

少し埃(ほこり)っぽいわねそれに土で汚れてるわ

あっ

あっ あっ

ズキ

あばれちゃだめー

うおわぁ!?

ちょっ！

ムニュ

ムニュ

あばれるな言われても
未知の体験過ぎてっ
ふぁ
全身をしゃぶられて
いるような感じでっ
ふーん？
へー？
ほー？
おやおやおや
これはこれは——
なるほどなのです
自主規制
何を感じての
その発言!?

ちょ

ここも汚れているのです

おい！

まって！

綺麗にしないとね

そうですね～

そこはらめぇ！

らめぇっ——!!

動かさなくていいからっ!

ソコは綺麗にしなくていいからっ!

パッ

#45

……

……

どうしたのですか？

「

コースケの悲鳴が
聞こえたような――

コースケ
心配

私には何も聞こえ
ませんでしたが

……

あら？

花瓶に活けて
あった花が――

……

……

どうしたんでしょう
交換しましたね

一刻も早くコースケを
見つけなければ

急務

集中力が途切れたな
最初からやり直すぞ

御意

たんのうした

ふふ
情けないわね

少しやりすぎて
しまったのです

ハァハァ

ううう
もうお婿にいけないぃ……

ぶる

コースケが
つつみかくさずー!?

私達も答えられるものは
なんでも答えるのです

全部教えて
くれるなら

ん?
『なんでも』——

王城か王族の情報とか
欲しいしな

わかった全部話すよ

その代わり俺の求める
情報も提供して欲しい

うんうん
いいよー

ベスはせっかち
なのです
ゆっくりでも
いいのですよ

さぁ
キリキリ吐きなさい

それじゃあ
話すが……

かなり荒唐無稽な話に
聞こえるだろうから
覚悟しておけよ

最初に目覚めたら
オミット大荒野で——

っと言った
感じだ

おぃー

コースケは
まれびとなんだー

ゴク
ゴク

気に話したら
喉が乾いたぜ

シルフィやエルフの
長老らはそう
認定したみたいだな

ギズマを退治した時に
入手した『ギズマの肉』だ

嘘では無さ
そうなのです

確かに常識では
考えられない
不思議な力なのです

なにもない
ところからものが
でてくるのはふしぎー

ほい
食べていいぞ

本当に存在するのね
お伽噺(とぎばなし)かと思ってたわ

ナニパー

ナニパー

わたしギズマの肉すきー

消えない松明(たいまつ)という証拠もあるのです

信じてもらえたなら何よりだ

すごい新鮮なギズマの肉

いただきますー

え？

ズプッ

生のままを咀嚼しないで取り込むのね

うーんおいしいねー

新鮮なギズマの肉は初めて食べるわね

あまり出回るものじゃないのです

というか君らは地下でどうやって生活をしているんだ？

食うものとかは？

さっきの俺食われかけてた!?

ジュワワ

ジュワワ

私達は地下に潜伏しながら
下水を管理しているのよ
栄養素は下水から得ているわ

マジで

下水も私達にかかれば
汚れや毒もそれに病気の元も
綺麗な水になるのですよ

ギラ

なるほど
そういうものか

だから下水道
っぽくないのか

ギラ

そ
そ
そういうものかって
それで納得するのね

普通はそれを聞いて
引くのですよ？

えんがちょされるー？

そうなのか酷(ひど)いな

嫌な匂いなんて全然しないし
それどころか爽やかな
芳香すら感じられるしな

でも俺の能力に比べれば
可愛いものじゃないか
浄化体質なんて

さて
俺が話したんだから
次はそっちが話す番かな

ライムには
向かないわね
私が話すわ

じゃー
ライムはコースケの
椅子になるねー

え？

おまかせ
するのです

うわっ

おっと

たわわな部分がヘッドレストになっていて――

ああ すごくいい

どうですか？

いいのか これは!?

それじゃぁ どこから話そうかしら

20年前のメリネスブルグ失陥(しっかん)の時から話したほうが良いわね

でもその前に――

まず私達3人の立場を言っておくわ

私達はメリネスブルグに住む王族を護る者達よ近衛(このえ)に近い存在ね

光の差す場所で表立って護るのが近衛

光の差さない影から護るのが私達なのです

わたしたちはこのあたりからはうごけないけどむてきー

へー

そう実質的に無敵よ

城内はどこにでも侵入できるし

ニュルルル

どこからでも現れることができる

それに死なないわ

なるほど

20年前

聖王国は領土と亜人奴隷
それにエルフの身柄を求めて
メリナード王国に攻め入って
きたわ

帝国と同じ多種族国家
という点も気に入らなかった
んでしょうけどね

ゴオ

王国の軍は善戦したけど
兵数の差は歴然としていた
程なくして王国は敗北し
王都も聖王国の手に陥ちたわ

知ってのとおり
メリナード王家は
エルフの血筋よ

人間がエルフの奴隷を
求める理由は？

知ってる
ずっと前に
シルフィから聞いたよ

エルフと人間との間には
魔力の高い子供が
生まれる

聖王国の貴族はそうやって
エルフの血を密かに
自分達の血脈に取り込み
魔力を保っているんだよな

そうよ王族の方達は
それを知っていたから
自分達の身を差し出して
国民の安寧を願った

それでどうなったんだ？

交渉にすらならなかったわ

『人以下の亜人風情が我々に歯向かって負けた上に条件をつけるなど何様のつもりだ』ってね

いっそ清々しいな

それならどうして王族はこの城に？

そこから先は私がお話しします

聖王国の連中は陛下の話に
聞く耳を持ちませんでした
それでも陛下は粘り強く
交渉を行なったのですよ

でも聖王国の連中は
その間にもメリナード王国の
国民を奴隷にして国外に
連れ去ったのです

陛下はその実情を
見て交渉を諦めざるを
えなかったのです

そして自分達王族の血を
聖王国に渡すことを
よしとしなかったのです

王族の血？

そうなのです
王族の方々はエルフの
中でも強い魔力をその身に
宿しているのです

その血筋を奪われると
聖王国の魔力持ちの質が
格段に上る可能性が
高かったのです

つまり王族の種や胎(はら)を使って
強い魔力を持った『魔力持ち』を
計画的に『増産』される
可能性を危惧したわけだ

それで
どうしたんだ

聖王国は陛下の交渉に応じず
逆に要求に応じない場合は
全国民を奴隷するか
処刑すると脅したのです

反吐(へど)が出るな

全くなのです

そして陛下はご決断
なさったのです

陛下は自らの命と魔力を
対価として生き残りの王族ごと
城の一角を氷で閉ざしたのですよ

氷で閉ざした？

陛下達が生きて交渉
できる状態だと国民達が
更に傷つけられる可能性が
高かったのです

陛下が全ての王族を凍りつかせて
封印することによって
王族の血を欲していた聖王国は
肝心の相手と交渉も手出しも
できなくなったのですよ

なので

そして
メリナード王国民を殺す
意味もなくなり奴隷として
使ったほうがまだマシに
なったのです

20年前シルフィが黒の森で修行をしていなければ一緒に封印されてたかもしれないのか……

……なるほど

でも魔法なんだろう？

時間経過で効果が薄れたり解除されたりはしないのか？

とは言っても強大な魔力を持つ陛下がその生命まで捧げて行使した大魔法なのです

勿論その可能性は皆無ではないのです

そう簡単にはいかないのです

それに私達もお守りしているのですよ

ペチ

せいおうこくの
まりよくもちがきたらー

おいはらってるのよー？

ドヤ

これは追い払い方を
表現しているのか……？

なるほど
じゃあ対外的に王族が
聖王国に連れ去られている
ことになっているのは？

国民の反抗の
意思を削ぐための
プロパガンダなのです

でも3年前には反乱が
起こってるよな？

ダナン達が黒の森に
逃げてくるきっかけに
なった反乱だ

それは王族の存在と
関係なしに起きた
反乱よ

聖王国の苛烈な
統治に対して国民が
決起した結果ね

って
せいおうこくの
しさいがいってたー

しかし
そこまで王族の存在が
漏れないものなのか

ポイゾ達が外部に
伝えればいいん
じゃないか？

私達は契約によって
この城の敷地の外には
出られないのです

聖王国に占領されてから
亜人はこの城に
近づけないしね

こぐんふんとうー

契約って？

普通のスライムは
喋ったり人の姿を真似や
複体を作って制御
したりできないのよ

私達は先代の王と
契約してスライムと
融合した水の精霊なの

ライム達は水の精霊と
スライムの悪魔合体の
産物だったのか……

あくまじゃないー
せいれいー

ペニ＝ル

痛い痛い
ごめんて

ペニ＝ル

シルフィなら
生き残りの王族を
助けられるのか？

恐らくは

結構帰ってこったぞ

陛下は『いつの日にか
シルフィエル様が
黒き森のエルフを率いて
王国を奪還するかもしれない』
と仰っていたのです

そうか

それは現実になりつつ
あるわけだし
シルフィのお父さんには
先見の明があった
のかもしれないな

だいたい事情は
理解できた

さて
そうなると俺は
どう動くかな

まずはシルフィ達に無事を報せるためにゴーレム通信機が要るか

そのための作業台を作るために簡易炉を作って鉄を作って採掘ポイントを探して……

地下道と下水道の地理もわからないしライム達にも協力を要請するべきか？

対価はギズマ肉が山ほどあるしこれで払えないだろうか

よし方針を決めた

まずは各種作業台を作れるように素材集めだ

スクッ

その協力してくれないか？

そうね協力してあげてもいいわ

勿論タダでとは言わないわよね？

俺に出せる範囲の報酬なら出すぞギズマ肉でよければまだあるし

おいしーのほしいのよー

あと
外の話も色々聞かせて
もらうわよ

私達娯楽に
飢えているのよ

じゃあ
協力してくれる
ってことでいいんだな？

いいよー
いい暇潰しに
なりそうだしね

ギブ・アンド・テイクなのです

それで具体的には
どうするのです？

ガラクタの類も素材に
変換できると思うから
粗大ごみ類が溜まって
いるところとかないかな？

あるわね
たまに下水にそういうのを
棄てるやつが居るのよ

私達が運んで
集めているのです

あるていどたまったら
いっきにしようかするのー

OH！
消化できちゃうのね

そういえばライムもそうだし
ベスもポイゾも随分と
簡単に俺に気を許したよな

聖王国の回し者とか
思わなかったのか？

なんでかしらね
そう言われると
不思議だわ

なんだかコースケからは
心地よい気配がするのです

なんだそれ

そう言えば――

シルフィに妙に精霊に
好かれるとか言われた
ことがある気がするな

それじゃぁ
私が案内するわね

おう
よろしく頼む

えー
わたしも
いきたいー

王族の方々の警護と
見回りの手を抜く
わけにはいかないの
です

むー
わかったー

ポワワワワ

なぁ3人って色が
違うけど何か特徴が
あったりするのか？

そうね私は3人の中で
1番魔法が得意よ

ホワ

ホワ

魔法攻撃にも強いわよ

ほほう！

ライムはスライムとしての
能力に特化しているわね

水属性だけでなく光属性や
火属性の魔法を使えるわ
魔法特化ね

粘度硬度は変幻自在
物理的に1番強い力を
出せるのはライムよ

あと水魔法だけなら
私と同じくらい得意ね

じゃあポイソは？

ポイソは回復魔法と
薬毒の扱いに長けているわ

今までに消化したものから
色々な成分を合成して
薬や毒を作り出せるのよ
毒ガスとかもね

あと消化能力も
1番高いわね

へー

ついたわ
ここよ

え？
そうなんだ？

ピアアア

よっ

おおー

これは
なかなか凄いな！

全部もらっていいのか？

いいけど本当にガラクタばっかりよ？

俺にとっては宝の山みたいなもんだ

インベントリに構わずツッコんで

1ポッ

2ポッ

3ポッ

解体

いいねぇ木材と屑鉄に解体できる

ある程度たまったら解体して

ポチ

解体中

それを繰り返せば——

カッ

凄いわね

一気に処理したから
インベントリの中が
ぐちゃぐちゃだ……

あれだけあった
ガラクタが跡形もなく
消えちゃった

なかなかの
お宝揃いだぞ

あとは粘土があれば
鉄製品が作れ――

ああ
燃料がないな

燃料ね

私の身体は
油分が多いから
燃料になるわよ？

油分が
多い身体？

えっ？

勿論 限度が
あるけどね

300年分の
下水処理で
得たものよ？

コースケが1人で
使う分には全く
問題ないと思うわよ

トロー

そうなのか
でも木炭くらいの
温度は出ないと
いけないんだけど……

なんとでもなるわよ
そんなの火の魔力を
込めてやればね

そうなのか……？

というかペスの身体を
燃やすっていうのが
引っかかるんだが
本人が気にしてない
ならいいのか？

あとは粘土なんだが
心当たりはないか？

うーん
私はないわね

そういうのは下水道
だけでなく地下道も
巡回しているライムの
方が詳しいと思うわ

あの子の行動範囲は
私やポイントより広いから

そうなのか
じゃあ一度
戻るとするか

おう

ふぁあっ
インベントリが
埋まって安心したら
眠くなってきた

じゃあ戻ったら
休息しましょ

どう？

この状況は一体……

とてもいい

まくらはー？

すばらしい

こんな感じでどうなのです？

ふしぎなかんしょくだ……

温かい風呂で寝落ちする時のような心地よさがある

が――

まさかベッドになると言い出すとは

しかも俺がクラフトするベッドより上の寝心地だしな

流石に全裸なのが気が咎めたのだが

きてもおなじー？

どうせ服から浸透して素肌に触れるんだから最初から脱いでたほうが面倒がないわよ

服は服で預かって洗浄しておくのです

自主規制

身体も綺麗にして
おいてあげるわよ

ねてるあいだに
まっさーじも
しとくー？

至れり尽くせりだな
でも
それだとゆっくり
寝れなそうな……

え？

なら
心地よい香りで
快適な眠りを提供
するのですよ

急に眠気が――

あー

おつさんぽー

おつさんぽー

うれしいなー

こーすけとおさんぽ
うれしいなー

#46

で

粘土が露出している
場所はどの位
かかるんだ？

んー
これくらいのはやさで
さんじゅっぷんくらい？

ぼふっ

結構遠いんだな

ボヨヨヨ

さわる？

さわらない

ちぇ～

この反応
無邪気だが俺を誘惑する
意図を含んでたり
するのか？

ところで
コースケはおさんぽ
きらいなの？

いや
そんなことは
ないが――

じゃぁこういうのはどう？

え？

おおっと

椅子になってどうするんだ？

しゅっぱーつ！

ズリ

どうー？

なかなか
快適だな

もっとスピードは
あがらないのか？

あがるー

それー

おおおおお

凄い凄い
大迫力だな

むふー
まだまだあがるー

いやっ
これくらいで…

それ～

スパパパ

アアア

もっとそれ～

あああ

ンンン

助けて
シルフィ!!

ドゴドドド

っ
!?

どうしたの？
今
コースケに助けを
求められたような……
キョロ
キョロ
何も
何か聞こえた？
転移した場所さえ
特定できれば
打つ手はある
頼むぞ
任せて
ん
これから転移魔法の
分析を開始する
はいっ

スルー

ゆら

おかえり？

ただいま～

すごい表情してるわね
粘土取れなかったの？

いや粘土は
十分以上に
採れたが――

行きも帰りも
高速移動で命の
危険を感じた

こーそくいどうって
しんきろくでたー

ドヤ

とりあえずこれで
簡易炉（かんいろ）がクラフト
出来るな

パー

これが簡易炉だ
基本的な鉄具の
製造が出来るぞ

なるほどー？
凄さがよく
わからないのです

燃料が必要なんでしょ
これを使ってみて

お
ありがとう

これが身体の
一部なのか？

普通の燃料
では
ないんだな
やっぱり

ポンっ

ベスの魔力燃料

でも普通に
使えるっぽいな

鉄インゴ

簡易炉

クラフティン

屑鉄をインゴットに
変えてから機械部品等を
作成すれば――

おおー

ほい！

初歩的な作業台を作成！

すぐさまアップグレードをしていきたいところなのだが——

初歩的な作業台

作業台アップ

ブロック

レンガブロッ

農

材料が足りん

作業台のアップグレードには鋼の板バネが必要で

鋼の板バネは簡易炉をアップグレードさせなきゃいけなくて

そのためには砥石が必要か

さらに言えば鉄と皮が足りない

砥石に心当たりないか？あと鉄と皮が足りない

鉄くずは効率が悪い

鉄は心当たりがあるのです砥石は流石に……

私に心当たりがあるわ調達してくるわね

かわはー
げすいどうからたまにくる
おっきいねずみから
とるしかないかなー？

なんか3人に
頼りきりで悪いな……

また何か
食い物を出すよ

えんりょなくー

ギブ・アンド・テイク
なのです
たっぷりいただくの
ですよ

そうね
味わうとするわ

おう
任せてくれ

消化したら
鉱石のありそうな場所に
案内するのです

じゃぁわたしは
砥石を取ってくるわ

おぅ
よろしく頼む

着きましたのですよ

ここか？

お城の汚水槽（おすいそう）のひとつなのです

汚水槽って割には水は綺麗に見えるが

少しだけ臭いはするけど

それは私達が頑張って汚水を浄化しているからなのですよ

私達はやろうとすれば金属も溶かせるのですが少し面倒なのです

だから汚水槽にある程度溜まったら一気に消化するわけなのですよ

ドロ

それに聖王国の連中がお城を占拠してからゴミ捨てのマナーが悪いのです

モゾ

モゾ

なんでこんなものを？ってものが捨てられることがあるのですよ

ゴネ

例えば？

税金関係や物品の納入書とかにはじまり

金属製のものや金貨とかも結構あるのですよ

あと人間や亜人の死体とか色々なのです

うわぁ

さて心当たりとはこれなのです

なんだこれ？

汚水槽の底に堆積(たいせき)した元々金属だったものなのです

沼鉄鉱

ブロック状なのはポイントが水中で成形したのかな？

沼鉄鉱

沼……？

いやこれは沼ではないだろう？

汚水槽だぞ？

でも使えそうな感じだからどんどん採取してくれるか？

わかったのです

私にお任せなのですよ

ついでにほんの少しでいいんだがミスリルも採れたりしないかな？

~~通信機~~のクラフトに必要なんだ

ミスリルは~~物凄く~~貴重品なのですよ

それは難しいのです

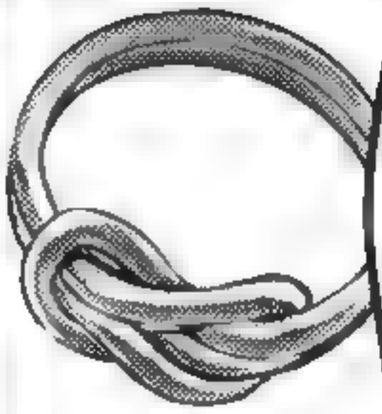
お城の宝物庫内も含め
略奪されて聖王国本国に
持っていかれたのです

聖王国許すまじ

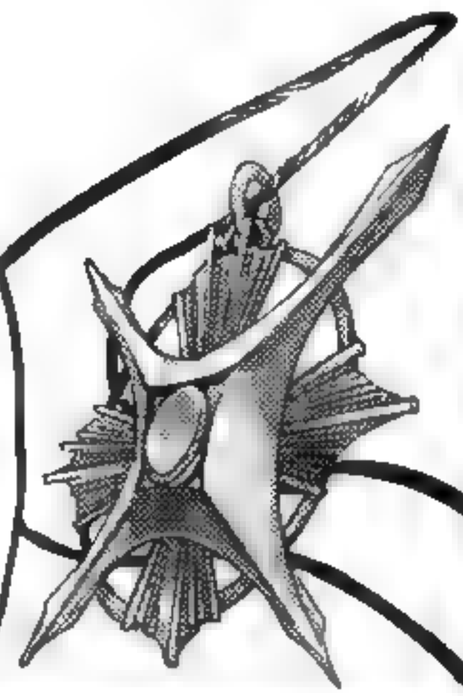
それだと入手は
絶望的か……

でもまったく
存在しない訳
ではないのです

貴族の婚約指輪は
慣例でミスリルが
使われるのです



あとアドル教の
最上級の護符にもです

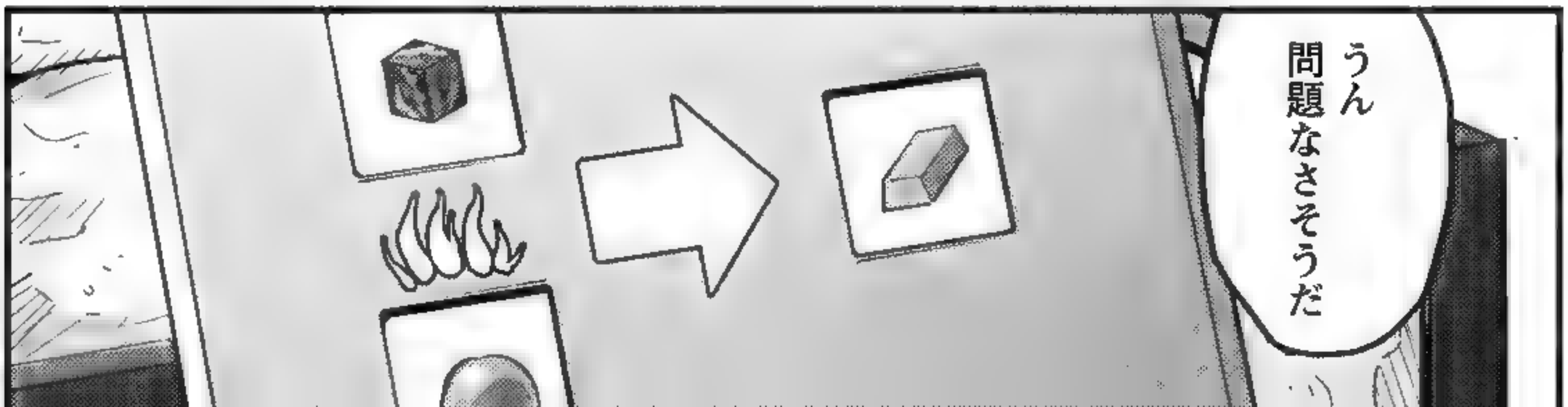


アドル教にはあんまり
近寄りたくないな

高額なお布施を
求められるけど
確実なのですよ

ミスリル製の製品を
手に入れるのに街に出る
必要がありそうだ――

うん
問題なさそうだ



鉄はこれで良さそうだ

ただいまー 持ってきたわよ 砥石

それは良かったのです

凄いな どこから調達してきたんだ？

聖王国軍の宿舎とか鍛冶工房からよ

盗んできたのか

先にこの城にあった全てを奪ったのはあいつらなんだから

取り返してきたと言って欲しいわね

これで上位の簡易炉が作れそうだありがとうな

簡易炉

簡易炉アップグレード

それじゃぁ早速簡易炉をアップグレードして――

わくわく

ヒロイン

って！忘れてたァ！

目がぁーあぁぁ。

まぶしかったー

なんなのです？

ちょっ
なっ何事!?

本当にゴメン

アップグレードする時
すんごい光るんだよ
忘れてた

本格的な施設に
なったのです

おかげさまでな

作業台もアップグレード
できれば色々クラフト
できるようになる

まずは
『鋼の板バネ』だな

それから
装備を整えて
地上でミスリルを
入手しないとな

必要なものが
あるなら言ってね
取ってくるわ

メリネスブルグ王城

ぐぬぬ
不味い不味い不味い！

じきに聖女が
到着する

どうすればいい

同執務室

枢機卿の密偵がワシを
メリネスブルグに
連れてきたのは
責任をとらせる為だ

枢機卿はどこまで
知っているのか？

枢機卿は部下である
彼女に審問させるに違いない

『真実の聖女』は
虚偽看破の恩寵を神より
授かったと聞く

本当にそうならば
情報を握り潰していたのが
無意味になってしまう

このままでは大司教の地位を追われ総督という役職が罷免(ひめん)され

枢機卿の地位への道も失われてしまう

このままでは……

このままでは……

そうびてんけーん

鎧よし

雑嚢(ざつのう)よし

剣盾よし

財布は？

メインは鎧の下
サブは雑嚢の中

あんまり強そうに
見えないわね

設定を復唱
なのです

東から来た傭兵
仕官先か戦場を
探してこっちに来た

どちらかというと
走るほうが得意なんだ

地下道は王族が通るから
直下でなくても『城内』
扱いなんだけど
ここまでが限界みたいね

ここまで
なのです

これからさきは
すすめないー？

ここまで
見送ってくれて
ありがとうな

『さようなら』じゃなくて
『いってきます』だ

また戻ってくる

行ってきなさい
無理はするんじゃ
ないわよ

お気をつけて
なのです

もどってきてー

出口だ

うおっ
眩(まぶ)しっ

ぐぐぐ…

ぐぐぐ…

久しぶりの
地上だ！

ライム達は道中
ゴブリンに遭遇(そうぐう)するかも
と言っていたがそんな
ことはなかったな

ガヤガヤ

#47

さすが東に向かう
街道に出たら
通行量が多いな

この様子なら
東から来た傭兵っていう
アリバイが作れるかな？

メリネスブルグ
街道
脱出口

王族が使う
秘密の脱出口の
位置も誤魔化せるよな

そういえば
あの尖塔(せんとう)って
王城のだよな

ならば
この森を
抜ければ——

おおっ

高い尖塔の王城

立派な城壁

アーリヒブルグも
でかいと思ったけど
こっちはくらべものに
ならないな

それと——

王城の奥に見える
山脈を超えた向こうに
アーリヒブルグが
あるんだよな

思えば遠くに来て
しまったものだな

通信機作っても
山脈越えて通信
できるのか？

あれは
傭兵団かな？

次！

武器の検査を！

行ってよし

はいよ

黒髪か——
初めて見る顔だな

珍しいか？

まぁな

傭兵か？
名前は？

そうだ傭兵だ
名前はコウ

黒髪の傭兵コウだな
旅の目的は？

仕官先を探している
まぁ仕事探しだな

きな臭いんだろ？
この辺りは

仕事には困らん
だろうさ
長期滞在か？

ふっ

とりあえず1週間
くらいはこの辺りで
仕事を探すつもりだ

そうか
なら入都税は
銀貨1枚だ

おいおい
随分高いな……

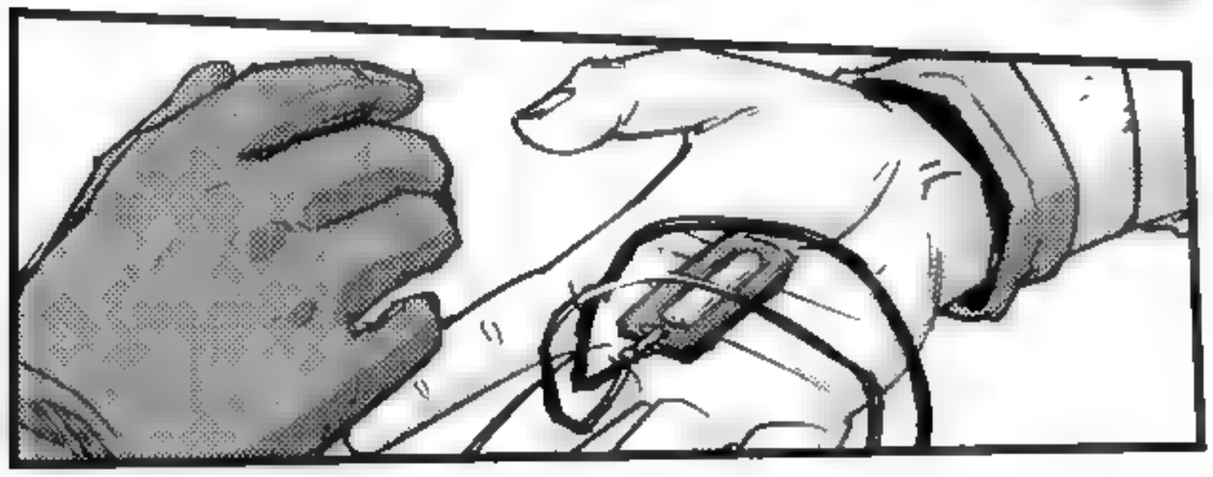
ゴッ

ゴッ

通行証だ

はいよ

カラーン



都の中で無闇矢鱈に
刃物を振り回すなよ

その時はふん縛って
牢に叩き込むからな

通ってよし

わかった
わかった
通っていいか？

おおー

次

こりゃ想像以上に都会だな

まずは宿を探すのが定番なんだろうけど……

ええと……

兄貴案内がいるのかい？

おう 宿だ
ベッドが綺麗な
場所が良いな

シラミがいるような
とこはダメだ
飯が美味けりゃ
もっと良い

LO-1

良さそうな
宿だったら
もう2枚だ

へへ任せてよ
こっちだよ兄貴

ここか？

ラフィンの宿

そうだよ
ベッドが綺麗で
ご飯も美味しい
って話だよ

おいらは泊まった
ことないけどね

いらっしゃいませ
ラフィンの宿へようこそ
お泊まりですか？

まだ案内してもらいたい
ところがあるから
待っていてくれないか

あいよ！

ああ
部屋は空いてるか？
この少年にベッドが
清潔で飯も美味い店だと
案内されてきたんだ

もちろんですとも
シーツは毎日洗いたて
食事の方にも力を
入れております

宿代は？

1泊大銅貨7枚
朝食と夕食付きなら
大銅貨8枚と
なっております

とりあえず
3日分で頼む

ありがとう
ございます
宿帳にお名前を
頂けますか？

ところで
両替がしたいんだ
帝国通貨を両替するなら
どこがオススメだい？

帝国通貨を？

ここに来る前は
東方の戦場に居たんだ
戦利品さ

それなら簡単な地図を
お描きしますね

ここに描いてある
場所まで銅貨2枚だ

任せてよ
兄貴！

こっちだよ！

この世界的には塩と
胡椒をたっぷり使って
いれば美食の類か

色々な調味料があった
黒き森のエルフの里の方が
味付けのバリエーションが
あったな

そして俺がクラフトで
生み出す料理は
その上をいく

まぁ
宿の食事にも期待は
しないでおこう

兄貴あそこじゃ
ないかな？

両替が終わるまで
待っててくれるなら
もう1件案内を
頼みたいんだが

え？本当かい？
待つ待つ
待ってるよ！

店の邪魔に
ならないとこでな

わかってるって

いらっしゃいませ

それとも
両替ですか？

借り入れですか？
換金ですか？

帝国の通貨を両替
したいんだが
可能か？

勿論です
どうぞ
こちらの席に

ストール

これはこれは
なかなかの大商(おおあきな)いに
なりそうですね

これを全て
聖王国通貨に両替
なさるということで？

そのつもりだ
ここにはラフィンの宿の
女将さんの紹介で来たんだ

そうですか
ラフィンの宿の……
早速ですが通貨を検(あらた)め
させていただいても？

これだけの帝国通貨が
持ち込まれるのは
珍しいですよ

東の戦場からですか？

ああ
向こうでの略奪品(りゃくだつひん)さ

それ自体は珍しくも
なんともないだろう？

ええ
そうですね

ベスが本物の帝国通貨を
調達してきて
手持ちの金と銀を使って
寸分違わぬものを
偽造したんだけどね

こちらが明細に
なります

大金だろうとは
思ってたけど
手数料引いてこれか？

全部で大金貨一枚
くらいと思ってたら
大金貨二枚と金貨三枚
小金貨五枚と銀貨七枚
大銅貨五枚か！
大金だな

ええ
7分ほど手数料を
頂いております

相場なんて
わからないし
この内容で頼む

では
こちらにサインを

聞いてもいいか？

はい
私に答えられる
ことであれば

実はその
個人的な話なんだ

ミスリルの指輪か
宝飾品(ほうしょくひん)が欲しいんだよ

ミスリルの？

いやぁ そのそういう条件というかなんというか――察してくれ

なるほど
なるほど

しかしミスリルですか……なかなか難しいですね

産地である黒き森のエルフからの交易が途絶えて久しいですしね

お客様の資金的には問題ないと思いますがいかんせんモノが市場に無いとなると……

マジか……
どうにか手に入らないか？

時にお客様は熱心な
アドル教の信者――

に見えるか？

いいえ

ですが
信仰を示すことは
できますでしょう？

大金貨2枚も包めば
信仰の証として
ミスリルのロザリオを
賜(たまわ)る事ができますよ

ここの教会は
メリナード王国における
信仰の本拠地ですから
ミスリルのロザリオの
用意もあるはずです

そりゃそうだろうが
どう言えば良いんだ？

大金貨2枚でミスリルの
ロザリオを売ってください
ってわけにはいかないだろ？

そこはそれ
言いようですよ

故郷に信仰の光を広め
愛しき人を妻に迎えるために
主神アドルの御光を
授かりたいのです——
と言えば良いのです
さすがは商人だな
口が上手い
お褒めに預かり
光栄です
世話になったな
こちらこそ良い商いを
させていただきました
帝国通貨だけでなく
金銀財宝などを手に
入れた時にも是非当店に
お任せください
覚えておくよ

兄貴

待たせたな

宿屋から大聖堂までの道順を案内して欲しいんだ

いいよ任せて兄貴も聖女様目当て？

聖女様って？

今ここに来ているんだよ

明日の礼拝と説法に来るみたいだから凄く混むと思うよ

へー

翌日

お出かけですか？

ええ大聖堂に

あらアドル教の信者だったのね

ええ……聖女様に一目お目にかかりたくて

気を付けて行ってらっしゃい

ありがとうございます

お――……

宗教建築というものは
見る者を圧倒するものだが
この大聖堂もご多分に漏れず
大変立派な佇(たたず)まいだな

聖女様による礼拝と
説法が行われると
あって厳戒態勢だな

とりあえず中に
入ってみるか

これは凄いわ

信心なんて欠片もない
俺でも驚嘆せざるを得ない
圧倒的な荘厳さだな

後ろの男が
ブツブツと呟いていて
コワイんだが

神よ私の罪を
お赦しください

神よ私をお守り
ください

一体どんな
罪を犯した
というのだね
君は

神よ私の罪を
お赦しください

神よ私をお守り
ください

あれが聖女様か？

次の方――

さて
ノリで並んでしまったが
何を話せばいいんだ？

？

貴方――

……

……

あの
聖女様？

ええと…

お赦しください……
お赦しく……

キィエエエエエエエッ！

ガシィ

なっ

なんだ
この野郎っ

ぐぉっ!?

!?

ぐげっ!?

うつけ
お前……

まさかこんな
ところで……？
ただの事故
みたいな形で？
ここで俺の冒険は
終わりなのか

ん……

あ……

……

知らない天井だ

確が刺されて

ハァ!!

うおっ!?

あの……？

聖女!?

貴方は――？

書き下ろし小説

【色々なすらいいむ】

文／リュート

「ライム達はスライム……ではないって話だったよな？」

俺がそう聞くと、ライム達は一様に首を傾げてみせた。

「せいかくには、ちがうー？」

「私達の本質は水の精霊よ」

「ただ、この世に顕れる触媒としてスライムが使われたのです」

なるほど、水の精霊はイメージに反してフィジカル強者だったようなな。雑魚オブ雑魚のイメージついえば占のダンジョンRPGとかだとスターだったようなな。雑魚オブ雑魚のイメージついえば占のダンジョンRPGとかだとスライムも海外RPGだとウーズだとかそういう名前で、かなり厄介かつ強力なモンスターだったアイツの影響なのかもしれない。

にコミカルな顔がついた水滴型の身体は国産有名RPGで有名なしってるー？」

「こーすけは、わたしたちいがいのすらいむ、しってるー？」

「いや、この世界では初めて見たな」

「この世界？」

「俺、稀人だから。気づいたらこっちの世界にいて、最初は途方に暮れたぞ」

「コースケはレアものなのですね。ところで、コースケの知っているスライムに興味が

あるのです」
「俺が知ってるスライムに？　まぁ聞きたいって言うなら話すけど」
と、そう言って俺が知るスライムの話をした。
「こう？」
「そう！　そんな感じ！」
ライムが俺が一抱えにできるほどの小さめの水滴型に整え、顔を造型してみせる。どうみてもRPGのアレだ。顔はライムの顔だけど。
「意外と形を作るのが難しいわね……」
そう言うベスの複体は水滴型ではなく、ただの潰れた球形になっている。なんか顔の造形も若干崩れていて怖い。
「普段はこういう小型の複体で形を作ることがないから仕方ないのです」
ポイゾの複体はほぼそのものだ。顔だけはちゃんと作ってあるから、なんかアレっぽい。というかほぼそのものだ。
「形を作るのはライムが一番上手なんだな」
「ふふーん」

ライムの複体を持ち上げて俺がそう言うと浮かべた。顔の位置が若干上に寄ったのは、か。可愛いな。ベスは水滴型になるのを諦め方に差し向けてきた。こっちはこっちで可愛が、ベスの複体はほど良い張りがあって手触「ポイゾのはうん……まあとてもスライムらぐぬぬ、なのです」

悔しがりながら俺の足を這い上がってくるかしまあ、これはこれで可愛いかもしれないんかベチャベチャしてるのが難点だけど。こうな？　俺の指というか手が普通に埋まって

「ほかにはー？」

「他？　他かぁ……俺の世界には精霊とか魔こない架空の存在だったし、そういうのに出なものだったぞ」

スライムの形状といえば水滴型、楕円型、だよな。あとはライム達みたいに人型になってるとか。

「意外と多様性って無いものなのね、異世界なのに」
「効率を考えるとだいたい同じような形に行き着くというのはある意味リアルなのです」
ファンタジー存在にリアルを論じられているこの状況がとてつもなく奇妙なものに感じられる。いやそうだけど、ライム達がそれを言うのかっていうね。
「そう考えると人型になるのって非効率といえば非効率だよな？」
「そうだけどー、ひととおはなしするときは、こういうかたちのほうがべんりー？」
「人間って自分と同じ形をしている方が安心するでしょう？」
「ああ、なるほど。それは確かに」
故郷だと人型の――それも女の子の形をした――スライムというのは、まあ基本的に萌えというか有り体に言って男性受けする方向でのデザインでしかなかったように思うが、ライム達にはしっかりとした理由があってのことなのか。
納得しながらライムの複体をぷにぷにと揉んでいると、ライムが滑るようにに近づいてきて手を伸ばし、俺の手の中の複体を吸収してしまった。どうして。
「もむならわたしをもめばいいー？」
そう言ってライムが自分の豊満な胸に俺の手を導き、もみもみと揉ませてくる。なるほど、確かに。同じ手触りならこれでいいな。いや良いのか？　絵面的にどうなんだ？

「人間の男ってこういうのが好きなんでしょうか？」
そう言っていつの間にか自分の複体を吸収していたベスも俺の片手を手の胸の部分を俺に揉ませてくる。うん、こっちは張りがあってとてもよろちも素晴らしいが、ぷにぷにも素晴らしい。でも絵面。絵面が酷い。シル現場を見られたら「そんなに欲求不満なら」と言われて寝室に連行されそ「こういうのもなのです？」
「うーん、それはちょっとわからない」
ついでに後ろからきたのだが、これは背中にポイゾが俺に覆い被さってと背中をマッだけのようにしか感じられなかった。なんかぐにぐにイムとやベスの感触とはかなり方向性がは するけど、手に感じるラ違うな。
「ぐぬぬ、わからせてやるのです」
「ヌワーッ!?」
背後に張り付いたポイゾが俺を後ろに引き倒して他の二人と比べると薄い胸部を押し付けてきた。うん、柔らかさとかわからな りに。
それより窒息しそうだから！　誰か助けて！　顔が胸に埋まってるから、文字通

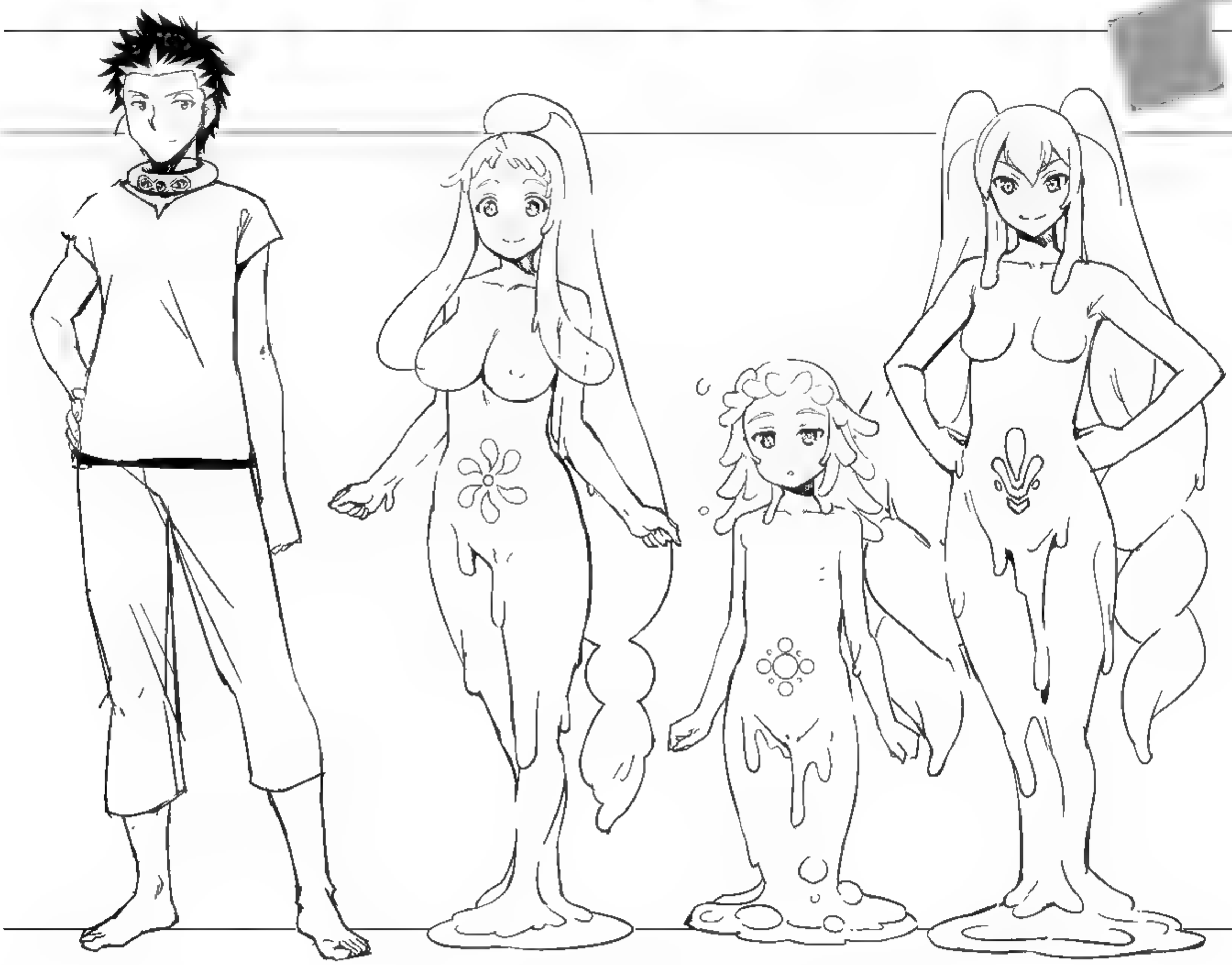
ご主人様とゆく異世界

THE COMIC

MATERIAL

設定資料

スライム達



ライム　　ポイゾ　　ベス

ライム・ポイゾ・ベスの 3 人はスライムの形こそ取っているものの、その本質としては、スライムと融合した水の精霊であり、メリナード王国の先代の王が契約したことで誕生した。
見た目に反して、シルフィやコースケを凌ぐほどの戦闘力を持っている。
その一方で、メリネスブルグの王城の範囲内から離れることが出来ないという制限も持っている。

あとがき

コミックス八巻をお手に取っていただきありがとうございます！

リュートです！

良いですよね、スライム娘。

存在そのものはニッチですが、私はとても大好きです。

ライム達に囲まれるコースケが羨ましい……！

リュート

あとがき

どうもSASAYUKIです。
無事8巻を出すことができました！
ありがとうございます。!!
やはり駆け足気味に話を進めてきました。スライム娘達とコースケの会話は面白いので気になる方は小説の第3巻で楽しんで下さい。！

今回はエレンの裸体。
本編では多分描かないだろうからこういう機会にね。

まいどのことながら
手伝ってくれるGody氏
担当の鈴木氏
ありがとうございますっ

SASAYUKI

2025年2月8日　初版発行

漫画　SASAYUKi
原作　リュート
キャラクター原案　ヤッペン

発行人　子安喜美子
編集　鈴木寛治
装丁　AFTERGLOW
本文装丁　池田太郎（CE編集部）
印刷所　株式会社広済堂ネクスト
発行　株式会社マイクロマガジン社
〒104-0041　東京都中央区新富1-3-7 ヨドコウビル
[営業部] TEL 03-3206-1641 ／ FAX 03-3551-1208
[編集部] TEL 03-3551-9563 ／ FAX 03-3551-9565
https://micromagazine.co.jp/

ISBN978-4-86716-703-8　C0979
©2025 SASAYUKi ©2025 Ryuto ©MICRO MAGAZINE 2025 Printed in Japan

本書はWEBコミック誌『コミックライドアドバンス2024年8月号～2025年1月号』（https://advance.comicride.jp/）に掲載されていたものを、加筆修正の上書籍化したものです。

定価はカバーに表示してあります。
乱丁、落丁本の場合は送料弊社負担にてお取り替えいたしますので、営業部宛にお送りください。
本書の無断複製は、著作権法上の例外を除き、禁じられています。
この物語はフィクションであり、実在の人物、団体、地名などとは一切関係ありません。

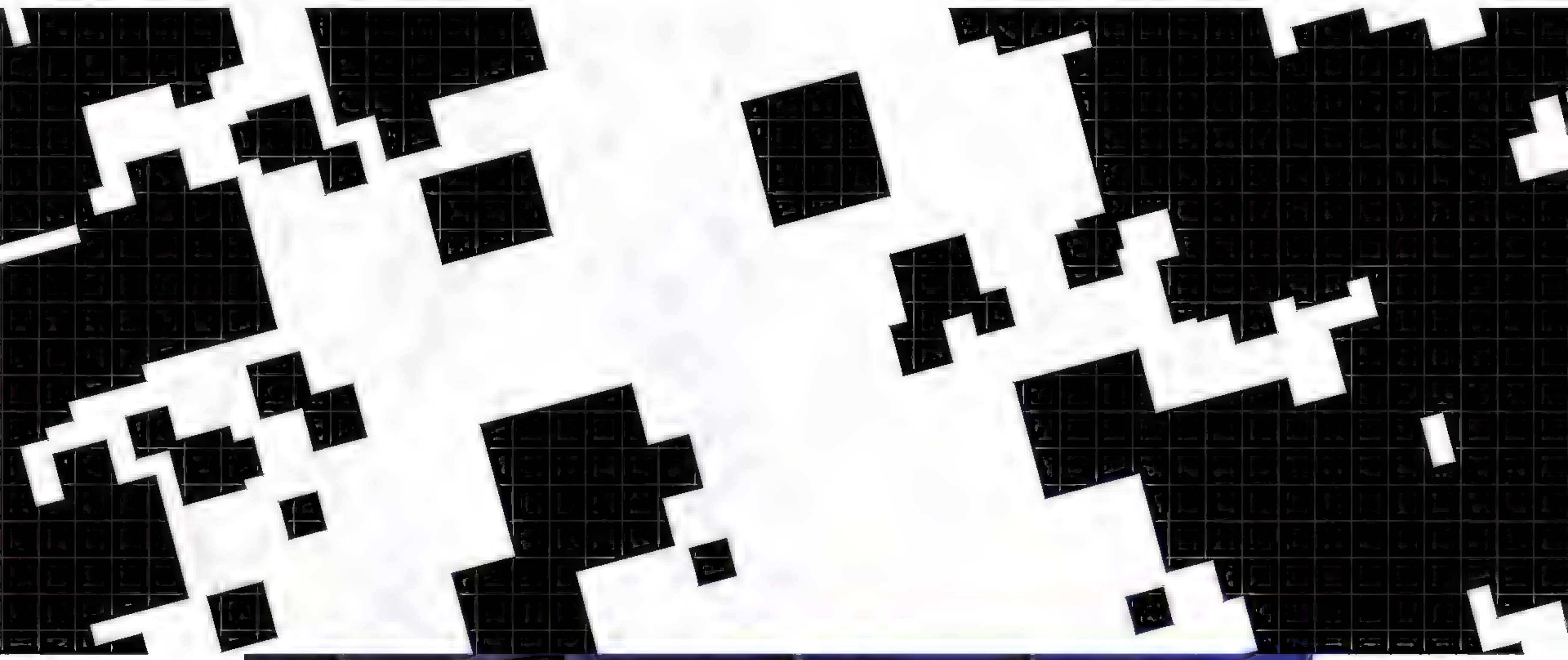
アンケートのお願い

右の二次元コードまたはＵＲＬ（https://micromagazine.co.jp/me/）をご利用の上、本書に関するアンケートにご協力ください。

■スマートフォンにも対応しています（一部対応していない機種もあります）。
■サイトへのアクセス、登録・メール送信の際にかかる通信費はご負担ください。

ファンレター、作品のご感想をお待ちしています！

宛先　〒104-0041　東京都中央区新富1-3-7　ヨドコウビル
株式会社マイクロマガジン社　コミックライド編集部「SASAYUKi先生」係



STORY

Different world survival to go with the master

アーリヒブルグを奪取した解放軍と合流し、シルフィとの再会を果たしたコースケ。任された仕事を片付け、もらった休暇でキュービと共に街を歩き回っていた。街外れに行き着き、所持素材などの整理をしていたコースケだったが…。突如、背後からの攻撃を受けてしまい気が付けば牢獄だった――!?

ご主人様とゆく異世界

STORY

Different world survival to go with the master

アーリヒブルグを奪取した解放軍と合流し、シルフィとの再会を果たしたコースケ。

任された仕事を片付け、もらった休暇でキュービと共に街を歩き回っていた。

街外れに行き着き、所持素材などの整理をしていたコースケだったが…。

突如、背後からの攻撃を受けてしまい気が付けば牢獄だったし――!?

SASAYUKI

ご主人様とゆく異世界ボッチ飯

THE COMIC

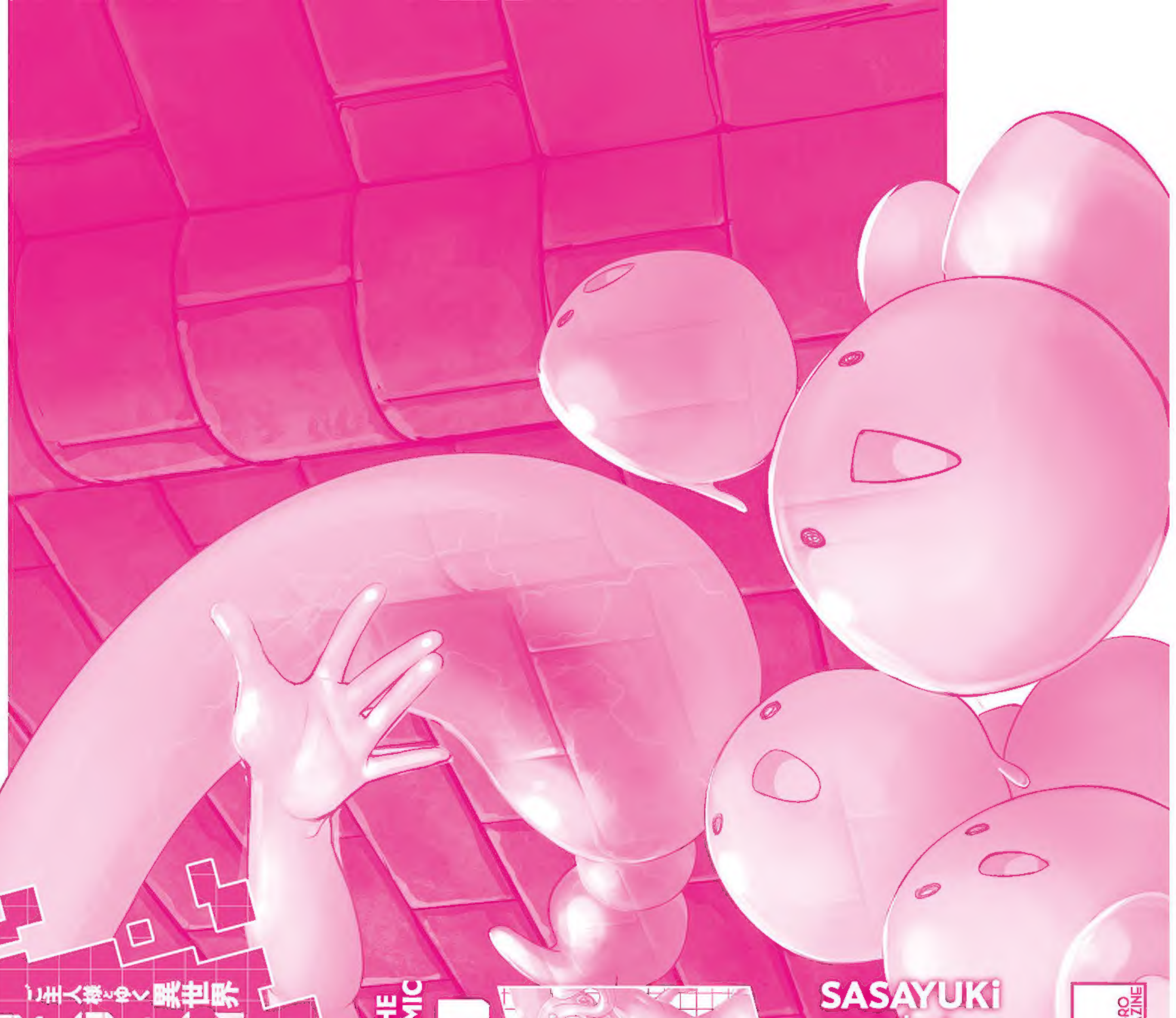
SASAYUKi

［原作］リュート

［キャラクター原案］

ヤッペン

RideComics


SASAYUKi
THE COMIC
ZERO ZINE

ご主人様とゆく異世界サバイバル

THE COMIC

SASAYUKI

［原作］リュート

［キャラクター原案］

ヤッペン

THE COMIC

［原作］リュート

［キャラクター原案］ヤッペン

RideComics

MICRO MAGAZINE